

# 第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

2-12

## 施策

倉敷の魅力国内外に発信し、来訪者の増大を図る

## 担当部局

文化産業局, 市長公室, 企画財政局, 市民局, 建設局

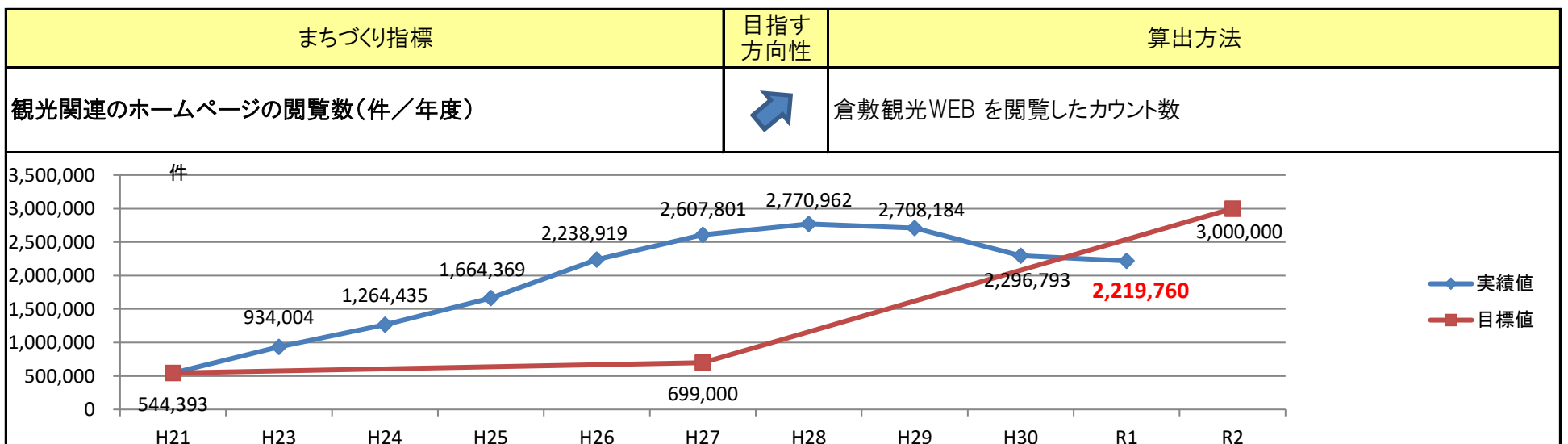
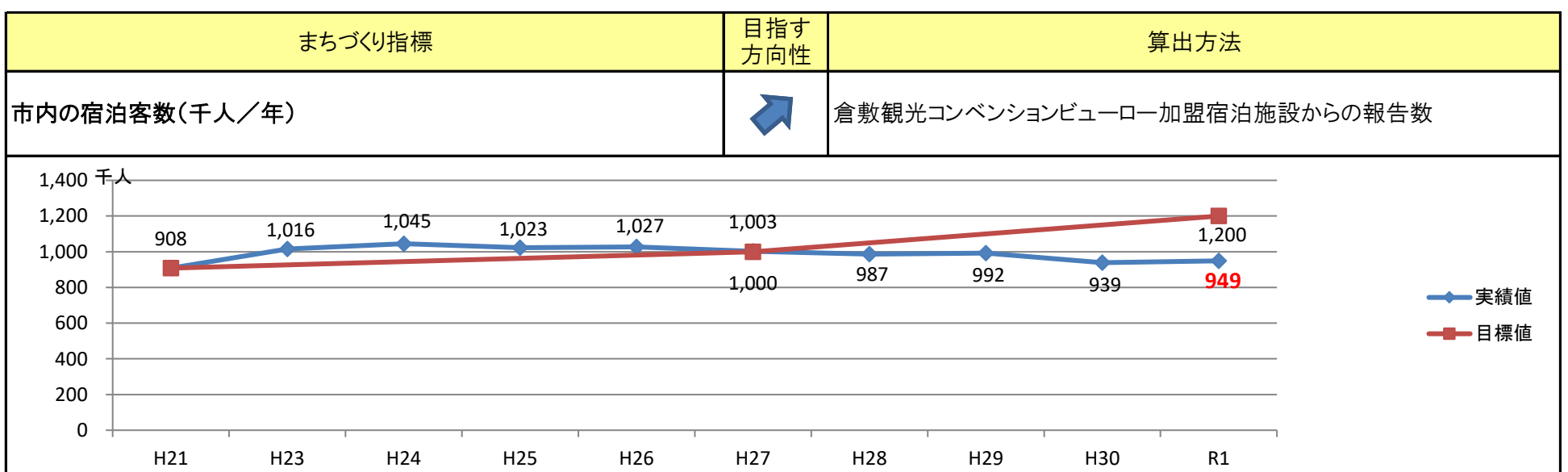
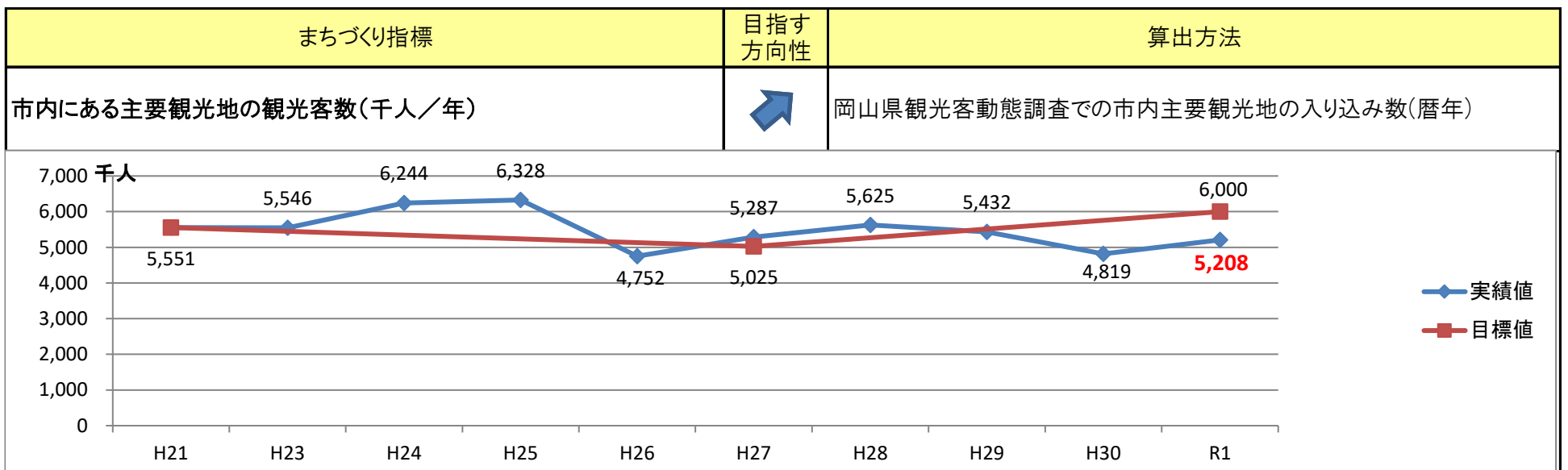


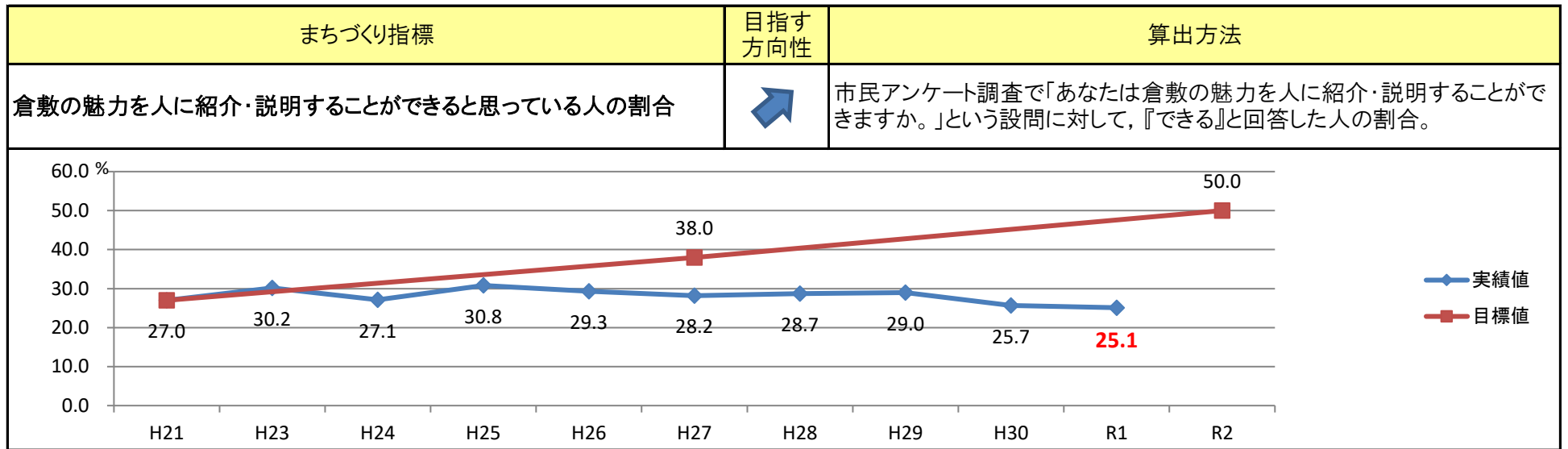
【躍動】めざまちの姿 倉敷の魅力積極的にPRし、たくさんの方が訪れるようになっている

## 市の基本方針

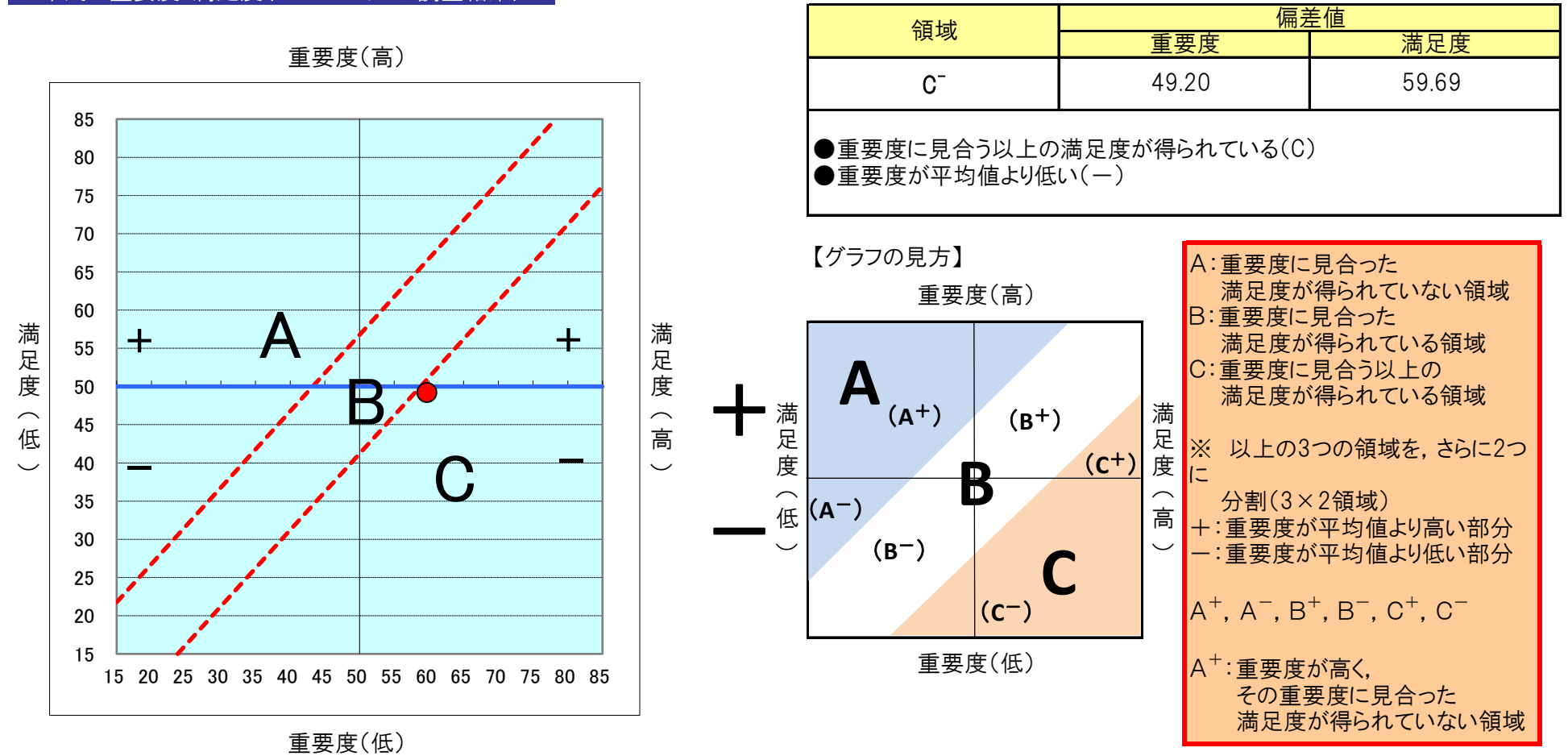
- 多様化する観光ニーズに対応するため、文化観光、産業観光、医療観光、環境観光など、多様な観光メニューが開発される中、本市の豊富な観光資源を効果的に情報提供できる取組を推進し、観光客の増加を図ります。また、外国人観光客の誘客に向け、東アジア圏等の現地において「倉敷市」の知名度を高めるための情報発信を強化します。
- 市内の大学、倉敷観光コンベンションビューローやコンベンション施設、宿泊施設、業界・諸団体、マスコミ等と連携を図り、学術会議、研究会やセミナーなどのコンベンション誘致やフィルムコミッション、修学旅行の誘致を積極的に進めます。
- 各地域や各分野の多様な魅力を、市民をはじめ行政、民間企業などが、マスメディアやインターネットなど情報媒体を効果的に活用し、国内外への情報発信に取り組み、都市イメージの向上を図ります。

## 数値目標





市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)/令和元年度の主な実績(II)/今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
公創	日本遺産推進事業(再掲)	(I) 市と関係団体で組織する倉敷市日本遺産推進協議会を中心として、本市の日本遺産を生かした地域の魅力向上と活力創出の取組みを行う。 (II) 情報発信の拠点である「日本遺産インフォメーション」3カ所の整備、自転車や徒歩で周遊可能な構成文化財を巡るガイドブックと3つの日本遺産を紹介するリーフレットの制作、高校生が提案した地域研究や活動プログラムを通じた魅力発信事業や成果発表会など、多様なターゲットにアプローチしながらストーリーの魅力を発信した。 (III) 活用可能な国の補助金など、新たな財源確保を図りながら普及啓発により効果的な事業を検討し、継続して実施する。	30,413
公創	高梁川流域Wi-Fi整備事業	(I) 高梁川流域圏域の自治体と共通に利用できる無料公衆無線LANサービスを提供することで、外国人観光客をはじめとした旅行者の利便性向上を図る。 (II) 新規整備を行わず、これまで構築したネットワーク環境の維持管理を実施。併せて、利用を促進するため、ホームページでのPRなどを実施した。 (III) 圏域自治体と連携を図りながら、引き続き無料公衆無線LANサービスの提供を続け、観光客の利便性向上を図る。	6,183
創	観光イベント事業	(I) 各種イベント・祭りを実施することで、観光客の誘致を図る。 (II) ハートランド倉敷181千人、倉敷天領夏祭り148千人、水島港まつり120千人、せんい児島瀬戸大橋まつり(春・秋)370千人など、大勢の集客があった。 (III) 事業内容の検討を行いながら、継続して実施する。	80,740

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
公創	高梁川流域観光振興協議会運営事業	(Ⅰ) 各市町や観光協会を構成員とし、民間の経済活動を圏域観光振興の原動力とする取組みを進めるとともに、圏域の地域資源を活用した商品開発・販路拡大や、インバウンドの推進などを行う。 (Ⅱ) 平成30年7月豪雨で影響を受けた観光需要の回復を図るため、圏域内のホテルや旅館の宿泊料が割り引かれる宿泊クーポンを発行する高梁川流域観光キャンペーン事業や圏域観光情報発信強化事業、高梁川流域観光インバウンド推進事業、着地型旅行商品開発事業の4事業を実施。圏域の観光力向上を図った。 (Ⅲ) 圏域自治体と連携を図りながら、継続して実施する。	5,838
公創	伯備線周遊モデルコース開拓事業	(Ⅰ) 倉敷から高梁川の清流に沿って中国山地の山間を走るJR伯備線の観光資源や文化財等をめぐり一般消費者を対象とした観光列車を企画販売することにより、圏域における観光周遊モデルコースの創出と今後の旅行商品化を図る。 (Ⅱ) 令和元年7月27日に日帰りの旅行商品(列車旅)を販売。75人が参加した。 (Ⅲ) 圏域自治体と連携を図りながら、継続して実施する。	1,000
公創	「山田方谷の軌跡(～奇跡～)」事業	(Ⅰ) 備中松山藩出身の幕末の偉人「山田方谷」に焦点をあて、高梁川流域エリアのブランド力を高め、広域観光を促進する。 (Ⅱ) 講演会、バスツアー、ウォーキングツアーなどのイベントを圏域内の自治体と連携して実施し、広域観光促進に努めた。また、ラジオ放送、メディアへの情報提供、歴史雑誌への広告掲載を実施し、圏域外への認知度向上を図った。 (Ⅲ) 圏域自治体と連携を図りながら、継続して実施する。	2,000
	観光コンベンションビューロー補助事業	(Ⅰ) 国内外からの多数の観光客やコンベンションの誘致を行うため、公益社団法人倉敷観光コンベンションビューローに補助を行う。 (Ⅱ) 観光案内マップ等印刷物の作成や観光案内所の管理運営を行うとともに、各種観光イベントや祭りへの協力や観光宣伝事業を行った。 (Ⅲ) 今後も継続して実施する。	100,903
	マスメディア等によるPR事業	(Ⅰ) 情報媒体を活用した積極的な観光情報の発信を行うことで、誘客促進を図る。 (Ⅱ) 倉敷への誘客を見込める、新聞広告や情報誌、WEB媒体、福利厚生会報誌など、様々な媒体で観光情報を掲載した。また、福利厚生会報誌では、同時に宿泊助成を行うことで実際の誘客に繋がった。 (Ⅲ) 今後も、紙媒体からSNSまで幅広く、費用対効果の高い媒体を検討しながら実施していく。	6,212
創	観光客誘致事業	(Ⅰ) 地域に根付いた歴史文化や教育旅行など様々な目的に応じて設立された協議会等を支援することで、広義における観光客の誘致拡大を目指す。 (Ⅱ) 玉島の歴史と文化を楽しく学ぶ「謎解きクイズラリー」や特産果実を味わう「倉敷アフタヌーンティー」を実施した。また、瀬戸内国際芸術祭2019に併せ県内外からの誘客を図るための観光バスツアーを造成した。 (Ⅲ) 今後も事業実施内容を継続して実施する。	27,146
公創	観光ウェブサイト情報発信事業	(Ⅰ) 倉敷の観光情報を集約した観光ウェブサイトを通じて、倉敷への観光客誘致を図る。 (Ⅱ) 旬の情報を発信する特集ページの制作や、公式Facebookの運営など、魅力的な観光情報を発信するための事業を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,500
公創	「巡・金田一耕助の小径」事業	(Ⅰ) 横溝正史の小説の主人公「金田一耕助」を取り上げ、「金田一耕助」が生まれたまちとして真備エリアをPRするとともに、映画や小説に登場するゆかりの地として高梁川流域エリアをPRし、観光客の誘客を図る。 (Ⅱ) コスプレイベント「1000人の金田一耕助」、謎解きラリーや広域ツアーなどのイベントを実施し、広域観光促進に努めるとともに、チラシやグッズの製作と新聞・雑誌等メディアでの情報発信を行いながら、金田一耕助ゆかりの地をPRし、観光客の誘客を図った。 (Ⅲ) 圏域自治体と連携を図りながら、継続して実施する。	2,100
公創	ビジット・くらしき・キャンペーン事業	(Ⅰ) 観光展や商談会に参加するとともに、海外での広告媒体を活用した観光PRを展開することにより、外国人観光客を誘致する。 (Ⅱ) 「倉敷インバウンド誘致委員会」や岡山県と連携し、国内外で開催される商談会に参加するとともに、パワーブロガーを活用したSNSでの発信などを行い、知名度向上を図った。さらに、パンフレットの多言語化やWi-Fi等無料無線LANの整備などを行う市内施設に対して補助金を交付し、外国人受入環境の整備に努めた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	12,340
公創	国際おもてなし講座実施事業(再掲)	(Ⅰ) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたおもてなし英語力の向上のため、市内で、英語講座を実施した。 (Ⅱ) 市民向け講座を38回開催した。(参加者のべ600人) 美観地区など現地へも出向き、より実践的な英語講座を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	547
公創	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 ニュージーランド ホストタウン事業・事前キャンプ実施事業(再掲)	(Ⅰ) 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、更なるスポーツ振興・国際理解を図るため、ホストタウン登録をしているニュージーランドや、普及・推進に取り組んでいる水球競技を中心に、代表チームの事前キャンプを誘致し、市民との交流の促進を図る。 (Ⅱ) ニュージーランドウエイトリフティング代表チーム及び水球女子日本代表の事前キャンプを受け入れた。事前キャンプ期間中には、市内小学校や高校での交流事業を行うとともに、練習の一般公開や水球女子ナショナルチーム4カ国のエキシビジョンマッチを開催した。またホストタウンフェスティバルを開催するなど市民のオリンピック機運醸成に努めた。 (Ⅲ) 令和3年に延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、事前キャンプの誘致を目指すとともに、NZ大使館、NZホストタウンズ等関係機関と連携して更なる機運醸成に努める。	21,203
	コンベンション誘致・フィルムコミッション事業	(Ⅰ) 地域経済の活性化と新たな交流人口の増加を目指し、コンベンション誘致事業を実施した。また映画やドラマの誘致により本市の知名度向上を図り、観光振興に繋げるためフィルムコミッション事業を実施した。 (Ⅱ) コンベンション誘致については、令和元年度は、381件の開催実績があった。また、国際MICEエキスポ2020への出展を通じて、学会主催者等への誘致セールスを行った。フィルムコミッション事業については、映画、ドラマ、旅番組やCMなどのロケ受け入れ支援の件数は16件であった。また、倉敷フィルムコミッションホームページで、情報提供を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	14,546



区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
公創	国際おもてなしマイスター育成事業	(Ⅰ) 圏域内の観光関連事業者を対象に、外国人観光客へのおもてなしを学ぶセミナーの開催により、圏域を訪れた外国人観光客に対する受入環境の向上を図るため実施した。 (Ⅱ) 「インバウンドおもてなしセミナー」として、計4回に倉敷市内で実施、延べ42人の参加をいただいた。 (Ⅲ) 十分な成果を得られたと考え、令和元年度で事業を終了する。	1,591
公創	高梁川流域観光資源発掘・発信事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域にある特徴的な観光資源を発掘・発信するとともに、圏域内を周遊する旅行商品の造成促進等を行い、圏域の認知度向上を図るために実施した。 (Ⅱ) インフルエンサーを活用した情報発信や旅行社と雑誌社を計7社招請するツアーを実施した。また、市内に宿泊し、圏域を周遊する旅行商品を造成する旅行社に対し、補助金を11件交付した。 (Ⅲ) 十分な成果を得られたと考え、令和元年度で事業を終了する。	4,558
重公創	くらしき「個性と魅力」発信事業(再掲)	(Ⅰ) 大都市圏における地場産品の販路拡大、国内大規模見本市への出展などを支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 渋谷ヒカリエ(参加事業者11社)での展示販売や、国際見本市である東京インターナショナル・ギフト・ショー(参加事業者6社)、グルメ&ダイニングスタイルショー(参加事業者6社)への出展支援を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,965
重公創	くらしき地域資源活性化事業(地域資源発信)(再掲)	(Ⅰ) 地域の個性と魅力あふれる「特産品」、「老舗」及び「魅どころ」を「くらしき地域資源」と位置づけ、その顕彰を通じて活性化を図るとともに、国内で地域資源の魅力を発信することを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内において永年にわたり事業を行い、地域経済の発展に貢献している老舗企業を顕彰するため、大正7年以前創業の3社に感謝状プレートを贈呈した。また、高梁川流域圏の市町や倉敷市内各地域のくらしき地域資源(特産品・老舗・魅どころ)を市民及び県内外の方々に広く情報発信するため、倉敷みらい公園で「～至極の逸品～くらしきフェア」を開催し、約5万人の来場があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,200
重公創	くらしき地域資源活性化事業(国内販路開拓支援)(再掲)	(Ⅰ) 大都市圏における地場産品の販路拡大、国内大規模見本市への出展などを支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 渋谷ヒカリエ(参加事業者11社)での展示販売や、国際見本市である東京インターナショナル・ギフト・ショー(参加事業者6社)、グルメ&ダイニングスタイルショー(参加事業者6社)への出展支援を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,965
重公創	くらしき地域資源活性化事業(海外販路開拓支援)(再掲)	(Ⅰ) 地場産品の海外販路開拓や販路拡大を支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) フランス・パリにおけるポップアップショールーム事業(参加事業者11社、来店者数1,381人、商談バイヤー数15人)のほか、倉敷市内でのアパレル個別商談(欧州やアジアより4社7人のバイヤーを招聘、参加事業者14社)及び食品商談会(国内輸出商社9社、参加事業者14社)、海外取引実践ワークショップ(全2回、参加事業者29社延べ37人)を実施した。 (Ⅲ) 一定の成果を得ることができたため、新たに地域再生計画を策定し、繊維産業の魅力を国内外に継続的に発信し認知向上を図る事業内容に見直す。	13,964
公創	ふるさと納税推進事業	(Ⅰ) 寄附金の受付や返礼品の贈呈等を行うなど、ふるさと納税を通じて倉敷の魅力を広く発信することを目的として実施した。 (Ⅱ) ふるさと納税寄附金89,195,000円 件数 2,190件 ふるさと納税寄附金(平成30年7月豪雨復興支援分) 7,972,800円 件数 200件 (Ⅲ) 民間事業者の活用による魅力的な返礼品開発や全国に向けたPR活動により、寄附金の維持に努る。	40,146
	広報紙発行事業	(Ⅰ) 市の施策や事業等を市民に知らせることにより、市政への理解と協力を得ることを目的に実施する。 (Ⅱ) 毎月1回、A4判サイズの36ページで、約185,000部発行した。特に重要な市政情報や大会・イベントなどの特集記事、福祉・環境・教育などに関する市政情報、健康診査や休日夜間当番医などの市保健所からのお知らせ、生涯学習施設での講座イベント情報、各種相談などのほか、市民から寄せられたイベント情報、市民企画提案事業などをわかりやすく広報した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	98,208
	マスメディアによる広報事業	(Ⅰ) 新聞・テレビ・ケーブルテレビ・FMラジオを利用し、市政情報・観光やイベントなど、本市の個性や魅力を市内はもとより市外・県外・海外へ広く発信することを目的に実施する。 (Ⅱ) 山陽新聞では、日本遺産や至極の逸品くらしきフェアの紹介など市政情報の広告を掲載した。RSKは毎月1回夕方に、OHKは年2回、RNCは年2回、TSC(BSテレビ東京で全国放送)は年1回、KSBは年2回、市の個性や魅力について放送した。KCT・たまテレ(CATV)は市政情報を静止画と動画で24時間放送した。FMくらしきは市長からのメッセージや各課からののお知らせのほか、60秒広報を年668回放送した。被災者支援情報を中心に放送した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	31,849
公創	シティセールス推進事業	(Ⅰ) 首都圏域に対してシティセールスを行う目的で実施する。 (Ⅱ) 倉敷市の個性と魅力をPRするウェブサイトを運営、特集記事を作成した。メディア向けのニュースレターを作成し、首都圏等のテレビ局・新聞社、雑誌社、ラジオ局等約300カ所に向け、年4回送付した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,214
公創	高梁川流域デジタルアーカイブ事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の一体感の醸成や魅力を発信する目的で実施する。 (Ⅱ) 高梁川流域MAPと連携し、圏域の各市町の天然記念物をテーマとしたPR映像を20本制作した。高梁川流域MAPに掲載、YouTubeに専用チャンネルを設けインターネットで配信したほか、圏域内ケーブルテレビ局でも放送した。 (Ⅲ) 平成27年度～令和元年度で合計100本制作し、完了した。	4,400
	倉敷市情報発信事業	(Ⅰ) SNSや動画サイトなど活用し、市政情報、観光やイベント、旬な情報など本市の個性や魅力を世界に向け発信する目的で実施する。 (Ⅱ) 市公式フェイスブックページの3月31日現在の「いいね!」は12,981件。市公式インスタグラムのフォロワー数は4,985件。 (Ⅲ) 継続して実施する。	—

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
公 都 創	倉敷館改修事業	(Ⅰ) 観光案内所として多くの観光客が利用する倉敷館について、施設の長寿命化とバリアフリー化等、利用者の利便性向上に向けた改修を行う。 (Ⅱ) 観光案内所として多くの観光客が利用する倉敷館の施設の長寿命化やバリアフリー化等、利用者の利便性向上に向けた改修を行った。(令和2年2月16日リニューアルオープン) (Ⅲ) 令和元年度で終了。	155,582
公	鷲羽山展望台周辺整備事業	(Ⅰ) 鷲羽山展望台周辺整備基本計画と名勝下津井鷲羽山保存管理計画に基づき、観光客が鷲羽山展望台周辺を安全・快適に散歩できるよう整備を行う。 (Ⅱ) 旧下津井電鉄鷲羽山駅付近から鷲羽山山頂につながる園路をコンクリート舗装し、つまずきを解消し、利用者の安全確保を図った。また、展望台につながる照明修繕、フジ棚の手摺取替により、利用者の利便性を高めた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	11,998
公	児島のまちづくり(児島地域活性化事業)	(Ⅰ) 下津井地区(旧下津井西小学校分校が立地する松島を含む)における集客や、消費が増進するようなエリアとしての魅力向上を図る。 (Ⅱ) 鷲羽山・下津井まちづくり推進協議会が主体となり、鷲羽旅情歌碑設置記念PR映像・画像コンテストを実施。さらに、旧倉敷市立下津井西小学校松島分校で陶芸体験等ができるイベントの実施や外国人芸術家による滞在制作及び展示会等を開催した。 (Ⅲ) 今後もまちづくり協議会が主体となり、まちづくりビジョン策定や移住・定住を伴う起業促進等に継続して取り組む。	1,108
公 創	観光看板多言語化事業	(Ⅰ) 外国人観光客に対応するため、市内の案内看板を多言語化する。 (Ⅱ) 倉敷物語館、倉敷館の館内案内看板等を多言語化した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,535
創	倉敷駅誘導案内施設整備事業	(Ⅰ) 観光客等の来訪者、高齢者、及び障がい者等すべての人が、快適に移動できるように、わかりやすい誘導案内サインを整備する。 (Ⅱ) 33基の倉敷駅周辺の誘導案内サインを修正した。 (Ⅲ) 平成30年度で終了。	0
公 創	水島臨海鉄道補助事業(案内放送設備多言語化事業)	(Ⅰ) 訪日外国人旅行者受入環境整備を行う。 (Ⅱ) 車両2両に案内放送設備多言語化工事を実施した。 (Ⅲ) 令和2年度で完了予定。	1,255